

防コミの歩き方



多聞南地域で取り組む防災活動と絆

地域の特徴

多聞南地域は、学が丘南公園、本多聞南公園等の多くの都市公園に囲まれた丘陵に展開する閑静な住宅街です。

最近、全国各地で頻発する地震等の自然災害、特に直近の能登半島地震により災害に対する危機意識は格段に高まっていると思います。

災害時要援護者支援制度の導入

地域内の高齢化の進行を踏まえ、令和2年度垂水消防署の指導を得て、「地域お助けガイド」を作成し、要約版を全戸に配布しました。令和3年度には神戸市福祉局の協力を得て「災害時要援護者支援制度」の導入を行い、自治会、婦人会、民生委員等と協働し、活用策の具体化を進めています。

スタンプ・ラリー

昨年度は、小学校が改築のため使用できなかったため、地域の子供たち約100名が地域内の公共施設（湯屋公園、環境局・垂水警察署・垂水消防署等）を巡る「スタンプ・ラリー」を行いました。垂水消防署では、防災訓練を実施し、消防車両見学、水消火器体験、火災予防講習でお世話になり、子供たちも大喜びでした。



地域総合防災訓練

昨年4月から多聞の丘小学校が開校したので令和6年1月28日、「地域総合防災訓練」を4年ぶりに実施しました。当日は、400人を超える地域住民が参加し、本多聞中学校吹奏楽部による演奏に始まり、神戸垂水区社会福祉協議会の車いす体験、本多聞あんしんすこやかセンターの段ボールベッドづくり体験、舞子高校の防災クイズ、小型ポンプによる放水体験、垂水消防署の水消火器体験、煙脱出体験、AED体験等各コーナーで真剣かつ楽しく防災訓練に取り組みました。最後は、炊き出し（豚汁・ぜんざい）、お楽しみ抽選会で歓声が上が的过程中で無事に訓練が終了しました。



今後の課題

住民の高齢化が進む中「要援護者支援制度」の安否確認・避難誘導訓練を行い制度の周知徹底と防災意識の高揚を図るとともに地域の交流をより一層深め、住民同士の「共助」システムの構築に努めていきたいと思っています。

（多聞南ふれあいのまちづくり協議会

委員長 垣内秀敏）